



今年度のESDの取組

- ・各教科の学習の中で、ESDとの関連を意識する。
- ・保健指導の中で、自分らしさやジェンダー平等について学ぶ
- ・保護者や地域との関わりの中で、SDGsについて共に考えていく。

【令和5年度 ESD 実践報告】

01 各教科の学習での取り組み



学習の導入で「SDGs すごろく」に取り組んで興味関心を広げたり、SDGsのオリエンテーションとして、学年の発達段階に応じた本の読み聞かせをしたりして、SDGsに関する理解を深めました。



生活科では、秋の素材を使って、みんなで遊べるおもちゃやゲームを作りました。友達と相談しながら作ることで、「他者と協力する力」を、異学年に説明することで「コミュニケーションを行う力」を養いました。



算数科では、マナボードを活用して、自分の班と他の班の違いに注目しながら発表することで、「批判的に考える力」を養うよう意識しました。

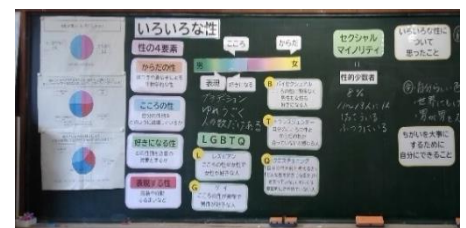
理科では、台風のでき方を調べる中で、温暖化の影響により多く台風が発生していることに気づき、自分たちにできることは何かについて考えることができました。



02 保健指導での取組



全学年で、養護教諭と担任による性教育の授業を実施し、自分らしさやジェンダー平等について学びました。心と体の性が異なる人もいることを知り、性的マイノリティを受容する態度を養うことを目的とした授業を通して、自身を見つめ直し、周囲と違うことはいけないことではなく、一人一人の個性であることに気づくことができました。



03 学校・保護者・地域と連携しての取り組み



勝田台南小学校区の1000か所ミニ集会で、学校・保護者・地域が一体となって、市の教育重点施策の一つであるESDを基に、勝南小の6年生が今年度学んできたSDGsのテーマを発信し、「平和」や「ジェンダー平等」、「住み続けられるまちづくり」について共に考える機会を作りました。



6年生が被爆体験講話やトランスジェンダーの方の講話を実際に聞いたことから平和や平等について直接的に触れる機会となり、学んだことを1000か所ミニ集会で発表して話し合うことで、さらに思いを深め共有することができました。